

○ 本校の概要

本校は今年度、開校69年を迎える。児童数は568名、学級数19学級、特別支援教室の拠点校となっている。正規教職員は32名、講師、補助員等を含めると総勢57名の教職員が「チーム多摩川」として児童を指導・支援している（令和6年4月1日現在）。本校は、笑顔で光り輝くウェルビーイングな学校を目指している。ウェルビーイングは、身体だけでなく精神、社会面も含めた「新たな健康」を意味する言葉で、「経済だけでなく、生活の側面や評価、感情に至るまで」この「健康を含めて捉える」新しいものさしである。本校では、こどもたちが「自分」の生き方だけでなく、家族や友達、自分が住む町・国などが、どのようにすれば、より良い状態・理想にあるかについて考えさせよう。ウェルビーイングには、「パランスとハーモニー（調和）」が重要である。学習だけでなく運動や健康、食事、人間関係などをパランス良く、さらに前向き（ポジティブ）に家族や友達、そんな学校を目指している。令和7年度は70周年、新教科「おたの未来」についても推進し、矢口地域で育ち、地域を愛し、地域に貢献する子どもたちを「矢口地域を笑顔にする子ども」に育てていく。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

[illegible]

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。